

## 再評価結果（平成18年度「事業継続」箇所）

担当課：本省都市地域整備局街路課  
担当課長名：松谷 春敏

事業名	大阪モノレール整備事業（国文モノレール阪大病院前～西センター）	事業区分	街路事業	事業主体	大阪府
起終点	自：大阪府茨木市南春日丘七丁目 至：大阪府茨木市大字粟生岩坂			延長	4.3 km
事業概要	本路線は、北摂丘陵に事業展開をする国際文化公園都市（彩都）への主要な交通アクセスとして、重要な都市基盤として整備されるものであり、沿線市街地への公共交通サービスにも寄与する				
H8年度事業化	H7年度都市計画決定			H8年度工事着手	
全体事業費	約185億円	事業進捗率	77%	供用済延長	km
計画交通量	台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 2.1  (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /591億円 事業費： /589億円 維持管理費： /2.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) /1,218億円 利用者便益： /1181億円 交通事故減少便益： / 24億円 環境改善便益： / 5億円 残存価値： / 8億円	基準年	平成17年
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市の再生（都市再生プロジェクトを支援する事業である）</li> <li>・（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり）</li> <li>・円滑なモビリティの確保（新幹線駅もしくは特急停車駅、空港へのアクセス向上が見込まれる）</li> </ul>				
関係する地方公共団体等の意見	・彩都へのメインアクセスであることから、早期に整備されることが望まれている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・変更なし				
事業の進捗状況、残事業の内容等	・再評価時点において、進捗状況は工事77%となっている。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・平成19年春の開業に向けて事業推進に努める。				
施設の構造や工法の変更等					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	次ページ				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図

大阪モノレール路線図





